

2 次の(1)から(4)の問題に答えましょう。

(1) $0.79 + 2.4$ を計算しましょう。

(2) $8.1 - 3.75$ を計算しましょう。

(3) 2.04×9.2 を計算しましょう。

(4) $8.3 \div 6$ を計算しましょう。(商を $\frac{1}{10}$ の位まで求め、あまりもだしましょう。)

3 下の図のような形の面積を求めます。
たけしさんの考え方で、面積を求めたときの式と答えを書きましょう。

たけしさんの考え
上下に分けてから長方形を動かして、1つの長方形にして求めたよ。

小算-3

4 次の(1)、(2)の問題に答えましょう。

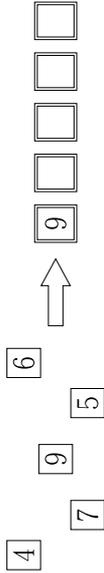
(1) 次の数を小さい順にならべ、の中に書きましょう。

$1\frac{3}{10}$, $\frac{1}{2}$, 1 , 0.4 , $\frac{9}{10}$



(2) 下のように、数字の書かれたカードが1まいずつあります。この5まいのカードをすべて使い、5けたの数を作ります。

四捨五入して千の位までのがい数にしたとき、97000になる数のうち、①もっとも大きい数と、②もっとも小さい数を書きましょう。



5 正方形のテーブルを1列にならべて、そのまわりに人がすわります。下のようにテーブルを1台、2台、3台...とふやしていったときの、すわれる人数を調べ、表1にまとめました。次の(1)から(3)の問題に答えましょう。

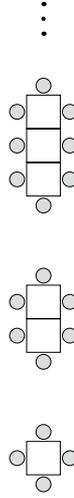


表1 正方形のテーブルの数をふやしたときのすわれる人数の変わり方

| | | | |
|-----------|---|---|---|
| テーブルの数(台) | 1 | 2 | 3 |
| すわれる人数(人) | 4 | 6 | 8 |

(1) テーブルが7台のときの、すわれる人数を求めましょう。

(2) たけしさんは、上の表から見つけたきまりを発表しています。に当てはまる数を書きましょう。

ほくは、テーブルの数が1ふえると、すわれる人数は ふえる
というきまりを見つけた。

小算-4

(3) テーブルの形を台形に変え、下のように1台、2台、3台...とふやしたときの、すわれる人数を表2にまとめました。ひとみさんとたけしさんは、テーブルの数とすわれる人数の関係について話し合っています。

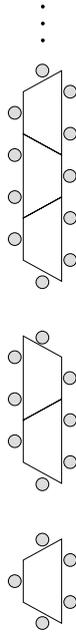


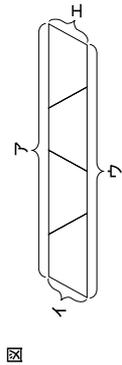
表2 台形のテーブルの数をふやしたときのすわれる人数の変わり方

| | | | |
|-----------|---|---|----|
| テーブルの数(台) | 1 | 2 | 3 |
| すわれる人数(人) | 5 | 8 | 11 |

すわれる人数は、テーブル1台のとき、 $3 \times 1 + 2 = 5$
 テーブル2台のとき、 $3 \times 2 + 2 = 8$
 テーブル3台のとき、 $3 \times 3 + 2 = 11$
 になっているわ。

ひとみ

図の意味を、テーブル4台のときを例にして考えてみよう。



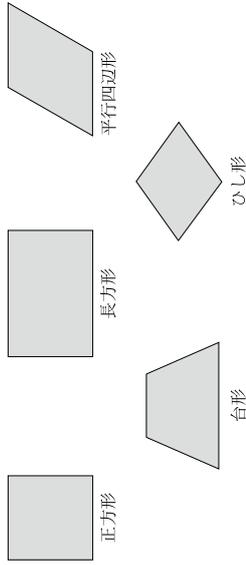
式は、 $3 \times 4 + 2 = 14$ だね。「 3×4 」は、ならべたテーブルの
 ① の場所にすわる人数を表しているよ。
 「 $+2$ 」は、ならべたテーブルの ② の場所にすわる
 人数を表しているね。

たけし

(問) たけしさんのふさだしの中にある①と②にあてはまる記号を、図のアからエの場所の中からすべて選んで書きましよう。

小算-5

6 ひとみさんとたけしさんは、下の5つの四角形のせいしつについて調べています。次の(1)から(3)の問題に答えましよう。



<四角形のせいしつについて調べたこと>

- ① 4つの辺の長さが等しい
- ② 4つの角の大きさが等しい
- ③ 向かい合った1組の辺が平行になる
- ④ 向かい合った辺の長さが等しい
- ⑤ 向かい合った2組の辺が平行になる
- ⑥ 向かい合った角の大きさが等しい
- ⑦ 対角線の長さが等しい
- ⑧ 対角線が垂直に交わる
- ⑨ 対角線が交わる点で対角線が2等分されている

(1) 2人はひし形について調べています。□にあてはまる図形を書きましよう。

ひとみ
 ひし形の対角線を調べてみると、
 ⑨のせいしつが当てはまったわ。

たけし
 そうだね。
 ほかに⑨が
 当てはまるよ。

ひとみ
 ひし形を2本の対角線で切ったら、
 どんな三角形ができるかな。

たけし
 ぼくは分かったよ。その三角形は□だね。

小算-6

(2) 次に2人は、対角線の長さについて5つの四角形を調べました。□に当てはまる四角形を2つ書きましょう。

どの四角形も2本の対角線をひくと、交わる点ができるね。



交わる点から頂点までの長さが四角形によってちがうね。



交わる点から4つの頂点までの長さが、全部等しい四角形もあるわね。



そう。2つあるね。



□の2つだね。

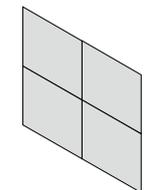


(3) 最後に2人は、平行四辺形について調べました。□に当てはまる番号を4つ書きましょう。

わたしは、平行四辺形にも対角線をひいて調べてみたら、平行四辺形のせいしつが1つ分かったわ。



ほくは、同じ大きさの平行四辺形を4つならべてみたよ。1つの大きな平行四辺形になったんだ。



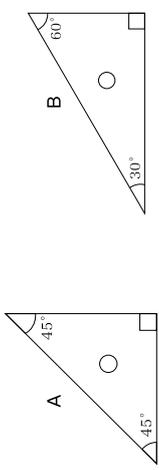
おもしろい方法だね。平行四辺形を4つならべたことによって、平行四辺形の辺や角のせいしつも分かりそうね。



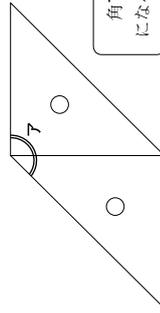
2人で平行四辺形のせいしつを、いくつか見つけることができたね。①から⑨の中で、平行四辺形に当てはまるせいしつは、□の4つだね。



7 hitomisanとtarou-sanは、Aの三角定規2まいとBの三角定規2まいを組み合わせてできる、いろいろな角の大きさを考えています。次の(1)から(3)の問題に答えましょう。



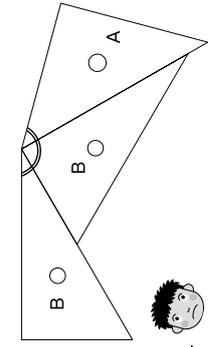
(1) hitomisanは、Aの三角定規を2まい組み合わせて、角Aをつくりました。角Aの大きさを求めましょう。



角Aの大きさが、何度になるか、分かったわ。



(2) tarou-sanとhitomisanは、4まいの三角定規のうち3まいの三角定規を組み合わせて180度の角をつくらうとしています。



tarou-sanは、右のように3まいの三角定規を組み合わせました。Iに当てはまる数を書きましょう。



三角定規を3まい組み合わせただけ、180度にするためには□I。足りないね。



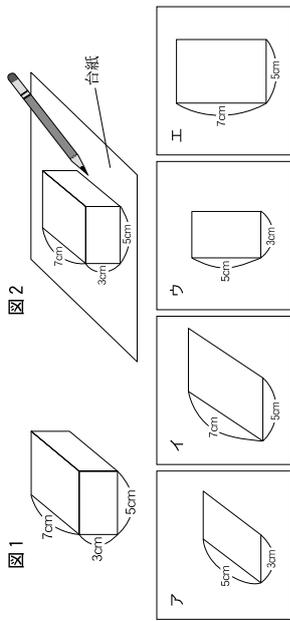
(2) hitomisanは、tarou-sanと別の組み合わせを次のように考えました。ウ・オにはAとBのどちらか当てはまる記号を、エ・カには当てはまる数を書きましよう。

180度をつくるためには、Aの三角定規の90度のウ□の三角定規の□エ□を、オ□の三角定規の□カ□を組み合わせるといいね。

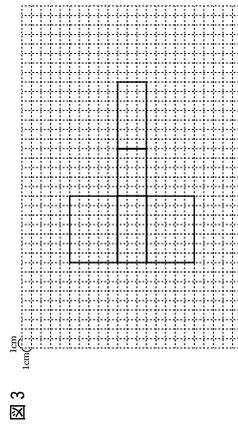


8 (1) から (3) の問題に答えましょう。

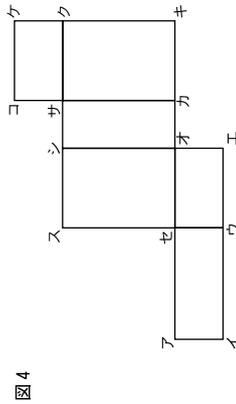
(1) 図1の直方体を、図2のように台紙の上に置いて面を写しとりました。写しとった面や辺の長さが正しくかかわれている台紙はどれですか。アからエの中から1つ選んで書きましょう。



(2) 写しとった面をならべて、図3のようにてん開図をかきました。てん開図を完成させるためには、面があと1面足りません。図3に足りない面をかきわくえましょう。



(3) 図4のてん開図を組み立てると図1の直方体ができます。組み立てたときに、点アに重なる点をイからセまでの中からすべて選んで書きましょう。



小算一9

9 たろうさんは、5年生が遠足に出かける日、かさとかっぱを持ってきたかどうかを調べ、その結果を表1にまとめました。次の(1)、(2)の問題に答えましょう。

表1 5年生のかさ・かっぱを持ってきた人数 (人)

| かさを持ってきた | かっぱを持ってきた | 両方とも持ってこなかった | 学年の人数 |
|----------|-----------|--------------|-------|
| 60 | 57 | 2 | 67 |

さちこ
たろうさんの作った表1を使って、かさとかっぱの両方を持ってきた人数が分かるようにまとめてみたわ。

さちこさんは、表2のようにまとめてみました。

表2 5年生のかさ・かっぱを持ってきた人数 (人)

| | かっぱ | | 合計 |
|----|-------|----------|----|
| | 持ってきた | 持ってこなかった | |
| かさ | ア | イ | 60 |
| | ウ | エ | エ |
| 合計 | 57 | オ | 67 |

さちこさんは、かさとかっぱの両方を持ってきた人数を求めるために、下の【さちこのノート】のように計算しました。

【さちこのノート】

$$67 - 57 = 10$$

$$10 - 2 = 8$$

$$60 - 8 = 52$$

さちこ
かさとかっぱの両方を持ってきた人数が分かったわ。52人ね。

(1) 【さちこのノート】で求めた「52」は、表のどこに当てはまりますか。アからオまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

(2) 【さちこのノート】の中の「8」は、どのような人数を表していますか。表2の中の言葉を使って書きましょう。

小算一10